
劇場小説版タイフーンマンズ六人目のタイフーンマンを倒せ！

台風X号

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

劇場小説版タイフーンマンズ六人目のタイフーンマンを倒せ！

【コード】

N5712J

【作者名】

台風X号

【あらすじ】

遂に、出陣。タイフーンマンズの劇場小説版。特典情報も付いています。

(前書き)

この作品は、とても面白く作っております。

「私は、バットマン。今、タイフーンマンズとニューヨークリンズに来ている。ハリケーンカトリーナ並みの被害をまた受けたからだ。」

どうも、ハリケーンが来た形跡がない。

タイフーンマンズの一人、波は頭をかしげた。

六人目のタイフーンマンは、邪悪だった。

劇場小説版タイフーンマンズ六人目のタイフーンマンを倒せ

タイフーンマンは、善魔と呼ばれた台風の命が人間に宿ると誕生する。

フスリヴィトは、少し思っていた。

「六人目は、カトリーナで襲われた可能性は？」

タイフーンマンズも気がつかなかった。

アイスハンドマンは、フラッシュと現場を調査し始めた。

グリーンランタンは、ハリケーンカトリーナは、悪魔か善魔か調べていた。

タイフーンマンズは、砂漠で身体を鍛えていた。

ハリードマンの出身地であるリビアは、平和だ。

社会主義の国が平和だということは、世の中が心地よい風が吹いている証拠。

「タイフーンマンズは、筋トレ良くするよなー。」

ハリードマンの質問に、タイフーンマンズは、こう答えた。

「昔からの趣味だよ。」

六人目のタイフーンマンは、ある場所に向かっていった。

アイスハンドマンは、ストックウイングと一緒に面白そうなものを作っていた。

氷の彫刻で、ホークマンを作った。

ホークマンは、喜んでいった。

「やっぱり、ニューヒーローって芸術の才能も違うな。」

「アストロス様、私ですカトリーナを司るタイフーンマンです。」

「どうしたこんなところにいて。」

「ニュージェレネーションジャスティスリーグの愚か軍団が、ニューオリンズにいました。」

アストロスは、怒りに暮れた顔をしていた。

タイフーンマンズは、ニューヨークズに来ていた。

もう一度被害調査のためである。

被害状況を把握していた結果、ある物体を発見した。

基地に戻って、調べていた。

六人目のタイフーンマンは、ニューヨークに近づいていた。

バットマンは、タイフーンマンを見つけた。

六人目のタイフーンマンは、ある建物に忍び入った。

アストロスを地上にあげる宝石があるという建物に入ってしまったのだ。

タイフーンマンズは、いろいろ見つけた。

フスリヴィトとハリードマンとアイスハンドマンとストックウイングとバットマンとグリーンランタンとグリーンアローが六人目のタイフーンマンと戦っていた。

タイフーンマンズは、水無石を液体にして詰め込んだ。

デザートリングとフラッシュは、アストロスのいる洞窟にいた。

「鉄で、倒せるとあの地獄からやってきたヒーローに教わったんだ。

」

「あいつは、めったに姿を出さないからな。」

タイフーンマンズとスーパーマンがやってきた。

スーパーマンは、デザートリングのいるところに向かった。

タイフーンマンズは、フスリヴィトのいる方向に向かった。

六人目のタイフーンマンは、かなり強かった。

「くそ、タイフーンマンズ2人分に相当する力がこいつなのかよ。」

容赦なくバットマンに襲いかかるうとした時、タイフーンマンズの一人雨が雲を拳に変えて、六人目のタイフーンマンズに命中させた。

「危なかった。」

アストロスと戦っている。スーパーマンとフラッシュとデザートリングは、大苦戦を強いられていた。

デザートリングは、拳を地面に投げつけた。

そこで発生した地震は、震度4クラスだった。

アストロスは、少しよろけた。

スーパーマンのパンチがさく裂した。

フラッシュは、暇そうな顔をしていた。

タイフーンマンズは、六人目のタイフーンマンを悪魔と呼んだ。

「貴様らは、善魔ということだなクソ共。」

アストロスは、撃退された。

そして、フラッシュがアストロスに鉄の粉をかけて封印した。

「とにかくここを崩そう。」

デザートリングが、震度7クラスの地震で洞窟を塞いだ。

タイフーンマンズは、苦戦しながらも一つの賭けに出た。

それは、水無石を投げたのである。

タイフーンマンズを苦しめた石を六人目のタイフーンマンに投げつけた。

六人目のタイフーンマンは、水無石のせいで無力になり始めていた。

水無石には、副作用効果があることにタイフーンマンズは、知らなかった。

悪魔台風には、水無石には効くが最悪のケースがある。

それは、よりパワーアップしてしまうと戦いにくいのだ。

タイフーンマンズにとって、最悪な敵ができてしまった。

デザートリングは、六人目のタイフーンマンを蹴散らそうとしたが失敗した。

彼を止める力は、存在しないと思われた時、風が、水無石を投げた。

「風、二度は通用しないんじゃないのか？」

「一度目と比べれば、水無石は、二度目に効果が出る。」

そして、六人目のタイフーンマンは、苦しみ始めた。

そこをタイフーンマンとスーパーマンの拳が炸裂した。

六人目のタイフーンマンは、人間に戻っていた。

どうやら、武装勢力の一人だった。

バットマンがそいつの言葉を聞いた。

それによると、どうやら、カトリーナからとった水蒸気を飲まされたということだった。

其の武装勢力がいるのは、なんとポルトガルだった。

武装勢力を潰すには、一つ方法がある。

水無石で、カトリーナの水蒸気を吸いこんで彼らのもとに渡したところを捕まえるという合理的な作戦を打ち立てた。

しかし、ひとつデメリットがある。

それは、相手に作戦がばれていないことだ。

グリーンアローが囿になった。

「あなた達の、例のものを持ってきました。」

「変わり者だな。まっ、いつか。」

タイフーンマンズ達に包囲された。

武装勢力は、勝てないことを理由に降伏した。

そのあと、タイフーンマンズ達は、基地であるものを見つけた。

そう、フラッシュがいつの間にか、パーティーの準備をしていたのだ。

「準備が、すごいぞ。」っとバットマンが冷静ながらツッコミを入れた。

アイスハンドマンは、氷をきれいに整えた。

そして、ハリードマンが火で軽く氷を溶かした。

水に見えるが特殊な水だ。

表面が、いろんなヒーローの顔が見えるぐらいにきれいになっていた。

「おおーハンサムな自分が見えるぜ。」

アクアマンの発言は、みんな無視した。

「おいおい無視しないでくれよ。」

スーパーマンは、あることを考えていた。

ジャステイスリーグも一新した記念のパーティーとして、スーパーマンは自らが新聞記者としての姿で偶然見つけたある音楽をみんなに聞かせた。

「何だろうこのいい声は、はじめて聞くよ。」ブルービートルが言った。

フラッシュは、CDを見た。

「初音ミク？」

スーパーマンは、見つけた音楽をどうやら好きになってしまったらしい。

タイフーンマンズは、闘いの終焉には、オチが必要という風に言っている。

おわり

淋無喜有りんむきゆう

あのハッピーツリーワールドシリーズの亜種が登場。

原作台風X号オールスターズケロ口軍曹happytreefriendsクレヨンしんちゃん銀魂ほのぼの

4月2日究極的新連載を見逃すな。

南極帝国の楽しき日々

ペンギンたちが建国した国の名前は、南極帝国ってそのまんまじゃねえーカー！

原作台風X号オールスターズ

4月4日新連載

たいふうのなく頃に

台風の神罰が東京を襲う。しかし手掛かりが見つかってしまう？

原作台風X号オールスターズ

好評連載中

劇場小説版淋無喜有愛を呼ぶ！究極の黄昏

最強の感動作品登場！カドルスが交通事故にあい更には、ほかのメンバーも事件に巻き込まれそうになった時、うちはドルレインとトウダイグサ・スカーレット大佐が救いの手をさし伸ばした。

原作台風X号オールスターズケロ口軍曹happytreefriendsクレヨンしんちゃん銀魂ほのぼの

3月28日ロードショー

Depression Concrete Rivals

かわいいキャラクターがいるけど、中身は、グロテスク。いい作品なのにショキングと魔法にいたずらされたかのようなお話です。

原作ぺそぎん ポケットモンスター 台風X号オールスターズ h

好評連載中
a p p y t r e e f r i e n d s

(後書き)

感想と評価をくれたら幸いです。この作品を作るために4日間もかかりました。その程度ですが、本編は、いよいよseason3が到来します。お楽しみにしてください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5712j/>

劇場小説版タイフーンマンズ六人目のタイフーンマンを倒せ！

2010年10月19日09時52分発行